

# 事業所名 リハビリテーション颯 みずの

## 運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和6年10月1日(火) 15:00~15:45	
参加者	議題
利用者 1名 地域住民の代表者 1名 市職員 2名 地域包括支援センター職員 1名 事業所 2名	1. 運営状況 当月利用状況(2024年9月末) 2. リハビリテーション颯みずのの取り組み 3. ご意見・質問照会
会議録	
<p>1. 運営状況 2024年9月末時点での登録者数 116名(男性 41名、女性 75名)、一回当たり平均利用人数 12.8名、延べ利用者数は 19日営業で 489名の方にご利用いただきました。</p> <p>2. リハビリテーション颯みずのの取り組み (1) SIOS の活用 活動・参加・主体性の 3つの軸での対話型のアセスメントシートを活用。長期のご利用の方に対して、身体面だけの評価にとどまらず、国が求めている、活動・参加へのアプローチを実施しています。今回の症例様は、長期的なご利用の中で、活動・参加は変動があるなかでも主体性の項目が伸びている方。身体だけでなく内面から元気を取り戻されている様子がシートから読み取れる症例様です。</p> <p>(2) 颯みずのでは基本プログラム、個別プログラム、集団プログラムの大きく 3つに分かれてリハビリを 3時間 10分行っています。今回はこの内の 1つ腰痛予防プログラムについてご紹介をさせて頂き、OT 日比野より、参加者の方にも体験してもらいました。このプログラムの目的は、腰痛を予防するために体幹の筋力を効率よく使う事を意識しています。そのために、お腹を凹ませたり、お尻を締める(失禁予防)、胸を張るなどの運動を複合的に行うことで実施をしています。大腿四頭筋も使うため、膝痛予防にもなります。</p> <p>3. ご意見 颯に通う事が楽しみになっている。自分に必要な運動メニューを準備してくれることも嬉しい。颯に通う事が 1週間のルーティーンになっている。(利用者)</p> <p>利用者さんが取り組んでおられる運動と一緒に参加出来て楽しい時間になった。けっこう体力を使うメニューだと感じた。(市職員)</p>	

たくさんの利用者さんを受け入れてもらい有り難い。通っている利用者さんは皆  
颯さんへ通う事を楽しみにされている。(地域包括支援センター)

#### 4. 地域とのつながり

- 令和6年12月 西陵コミュニティーセンターにて老人会主催の健康体操教室へ  
講師として作業療法士が参加。地域高齢者に介護予防につながる運動を指導。
- 令和7年3月 しのの包括支援センターよりお声掛けいただき下半田川地域の高齢者  
に対しての健康体操教室実施予定。

【次回：令和7年3月頃開催予定】